



学校だより

# おつひ

半田市立乙川東小学校

第9号

令和7年11月21日

発行責任者：福島 富美



校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



10月のある日、4年生の教室に入ると、ペットボトルに挿された2本のカーネーションが目につきました。左のペットボトルには、白いきれいなカーネーションが咲いていました。そして、右のカーネーションは元気なくしぶんでいました。



これは、言葉の力を証明する実験でした。左のペットボトルには、教室で聞かれる「ふわふわ言葉」(ありがとう・手伝おうか・よかったです・がんばるぞ・楽しいね等)が周りに貼ってあり、子どもたちがそれらの言葉をかけ続けたそうです。反対に、右のペットボトルには、「ちくちく言葉」(めんどうくさい・こいつ・うざい・無理！・さいあく等)が貼ってあり、それらの言葉をカーネーションに浴びせたそうです。このカーネーションが、もし人だったら……、と考えてしまいました。



日本には、古代から「言霊(ことだま)」という考え方があります。そう、言葉には力があります。

東日本大震災が起こってしばらくの間、CMで流れていた金子みすゞさんの「こだまでしょうか」の詩。優しい言葉には優しい言葉が、きつい言葉にはきつい言葉がかえってきます。

学校図書館にある絵本「ことばのかたち」(おーなり由子作)の1ページ目は「もしも話すことばが 目に見えたなら どんなかたちを しているだろう」で始まります。そして、最終ページは「とどいたことばが こもれびのように わらいますように」で閉じます。

子どもたちには、豊かな言葉の使い手になって、言葉で周りを幸せにする人になってほしい、と願います。そのために、今一度、私たち大人の言葉を振り返りたいものです。

学校だより「おつひ」はHPにも掲載しています。ご活用ください。

乙川東小学校HP <https://www.okkawahigashi-e.ed.jp/>



# 運動会



スローガン「やる気！勇気！元気！おつひ！」のもと、10月25日(土)に運動会が開かれました。競技も応援もがんばる姿がたくさん見られました。  
ご参観いただいた皆様、ありがとうございました。



2年:大玉ころがし



高学年赤白対抗リレー



5年:援軍が駆けつけ、綱引き



1年:ダンスをして玉入れ



放送委員会:場内アナウンス



4年:棒引き合戦



5・6年:乙東っ子ソーラン！



3年:台風の目